

# メキシコ債券ファンド (毎月分配型)

## 【愛称:ラ・バンバ】

### 【運用報告書(全体版)】

第12作成期 (2018年8月28日から2019年2月26日まで)

第 **67** 期 / 第 **68** 期 / 第 **69** 期  
決算日2018年9月26日 決算日2018年10月26日 決算日2018年11月26日

第 **70** 期 / 第 **71** 期 / 第 **72** 期  
決算日2018年12月26日 決算日2019年1月28日 決算日2019年2月26日

### 受益者の皆さまへ

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主としてメキシコの債券等に投資し、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

三井住友アセットマネジメント株式会社は、関係当局の認可等を得ることを前提に、2019年4月1日に大和住銀投信投資顧問株式会社と合併し、商号を三井住友DSアセットマネジメント株式会社に変更する予定です。



## 三井住友アセットマネジメント

〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1 <http://www.smam-jp.com>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま サービス部 0120-88-2976

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

お取引状況等はこちらの販売会社へお問い合わせください。

### ■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2013年3月8日から2023年2月27日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてメキシコの債券等に投資し、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 メキシコ・ボンド・ファンド (ディストリビューションクラス) メキシコの債券等 マネー・オープン・マザーファンド 円貨建ての短期公社債および短期金融商品
当ファンドの運用方法	■主として、メキシコの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。 ■原則として対円での為替ヘッジは行いません。 ■実質的な運用は、現地の債券運用に強みを持つアクシオネス・イ・パローレス・パナメックスが行います。
組入制限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	■毎月26日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みません)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

メキシコ債券ファンド（毎月分配型）【愛称：ラ・バンバ】

■ 最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			債券組入比率	投資信託証券組入比率	純資産額
		(分配落)	税込分配金	期中騰落率			
第8作成期		円	円	%	%	%	百万円
	43期(2016年9月26日)	5,812	50	△6.9	0.2	89.5	3,448
	44期(2016年10月26日)	6,327	50	9.7	0.2	90.7	3,660
	45期(2016年11月28日)	5,790	50	△7.7	0.2	90.5	3,320
	46期(2016年12月26日)	6,037	50	5.1	0.2	90.3	3,340
	47期(2017年1月26日)	5,529	50	△7.6	0.2	91.0	3,175
第9作成期	48期(2017年2月27日)	5,933	50	8.2	0.2	94.5	3,366
	49期(2017年3月27日)	6,195	50	5.3	0.2	91.2	3,551
	50期(2017年4月26日)	6,088	50	△0.9	0.3	89.8	3,384
	51期(2017年5月26日)	6,272	35	3.6	0.3	90.8	3,360
	52期(2017年6月26日)	6,587	35	5.6	0.3	94.2	3,417
	53期(2017年7月26日)	6,581	35	0.4	0.2	94.0	3,297
第10作成期	54期(2017年8月28日)	6,535	35	△0.2	0.2	91.0	3,235
	55期(2017年9月26日)	6,593	35	1.4	0.2	90.8	3,222
	56期(2017年10月26日)	6,168	35	△5.9	0.2	91.0	3,048
	57期(2017年11月27日)	6,209	35	1.2	0.2	94.4	3,027
	58期(2017年12月26日)	5,916	35	△4.2	0.3	89.4	2,750
	59期(2018年1月26日)	6,006	35	2.1	0.3	94.8	2,704
第11作成期	60期(2018年2月26日)	5,822	35	△2.5	0.3	94.7	2,574
	61期(2018年3月26日)	5,750	35	△0.6	0.3	90.8	2,458
	62期(2018年4月26日)	5,801	35	1.5	0.3	90.1	2,390
	63期(2018年5月28日)	5,555	35	△3.6	0.3	89.6	2,175
	64期(2018年6月26日)	5,480	35	△0.7	0.3	89.5	2,111
	65期(2018年7月26日)	5,870	35	7.8	0.3	93.9	2,229
第12作成期	66期(2018年8月27日)	5,847	35	0.2	0.3	90.6	2,187
	67期(2018年9月26日)	5,801	35	△0.2	0.3	90.0	2,148
	68期(2018年10月26日)	5,570	35	△3.4	0.4	89.7	2,048
	69期(2018年11月26日)	5,132	35	△7.2	0.4	90.6	1,837
	70期(2018年12月26日)	5,318	25	4.1	0.4	90.0	1,847
	71期(2019年1月28日)	5,549	25	4.8	0.4	90.7	1,882
72期(2019年2月26日)	5,587	25	1.1	0.3	94.0	1,859	

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

## ■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債券組入 比 率	投資信託 証券組入 比 率
		円	騰 落 率		
第67期	(期 首) 2018年8月27日	5,847	—	0.3	90.6
	8月末	5,740	△1.8	0.3	90.7
	(期 末) 2018年9月26日	5,836	△0.2	0.3	90.0
第68期	(期 首) 2018年9月26日	5,801	—	0.3	90.0
	9月末	5,913	1.9	0.3	90.0
	(期 末) 2018年10月26日	5,605	△3.4	0.4	89.7
第69期	(期 首) 2018年10月26日	5,570	—	0.4	89.7
	10月末	5,346	△4.0	0.4	89.3
	(期 末) 2018年11月26日	5,167	△7.2	0.4	90.6
第70期	(期 首) 2018年11月26日	5,132	—	0.4	90.6
	11月末	5,184	1.0	0.4	91.5
	(期 末) 2018年12月26日	5,343	4.1	0.4	90.0
第71期	(期 首) 2018年12月26日	5,318	—	0.4	90.0
	12月末	5,306	△0.2	0.4	89.9
	(期 末) 2019年1月28日	5,574	4.8	0.4	90.7
第72期	(期 首) 2019年1月28日	5,549	—	0.4	90.7
	1月末	5,457	△1.7	0.4	90.5
	(期 末) 2019年2月26日	5,612	1.1	0.3	94.0

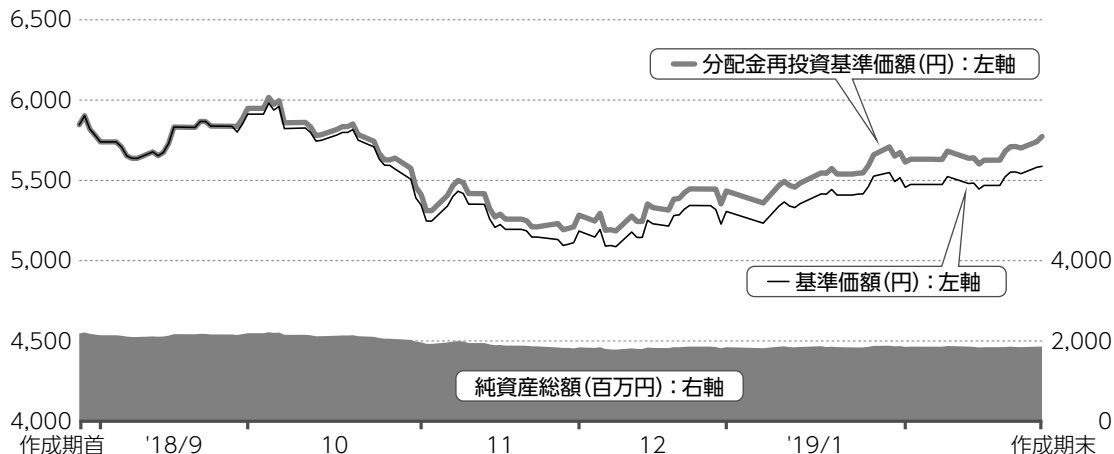
※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

# 1 運用経過

基準価額等の推移について（2018年8月28日から2019年2月26日まで）

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	5,847円
作成期末	5,767円 (当作成期分配金180円(税引前)込み)
騰落率	-1.3% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

**基準価額の主な変動要因（2018年8月28日から2019年2月26日まで）**

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として、メキシコの債券等に投資しました。また、対円での為替ヘッジは行いませんでした。

**上昇要因**

- メキシコ国債や社債の利金収入
- 米国の利上げ見通しが後退したことなどを背景に、1月上旬から作成期末にかけてメキシコペソが対円で上昇したこと

**下落要因**

- メキシコの国債利回りが上昇（価格は下落）したこと
- ロペスオブラドル新大統領がメキシコの新空港建設を中止したことを契機に政治リスクが高まり、10月中旬から12月上旬にかけてメキシコペソが対円で下落したこと

**組入れファンドの状況**

組入れファンド	投資資産	作成期末組入比率
メキシコ・ボンド・ファンド(ディストリビューションクラス)	外国債券	94.0%
マネー・オープン・マザーファンド	短期金融資産	0.5%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

投資環境について（2018年8月28日から2019年2月26日まで）

当作成期のメキシコ債券市場のトータルリターンはプラスとなりました。為替市場ではメキシコペソは対円で下落しました。

### 債券市場

メキシコ国債利回り（10年国債）は、作成期首から上昇基調で推移し、特に10月中旬から12月上旬にかけて大きく上昇しました。12月に大統領に就任したロペスオブラドール氏が、就任前の10月に、既に着工していたメキシコシティの新空港建設を中止することを発表したことから、新政権の政策対応を巡って不透明感が高まったことが背景です。その後は新政権が提出した2019年度の予算案で基礎的財政収支の黒字目標が示され、財政状況の悪化に対する懸念が後退したことなどから、作成期末にかけて利回りは低下しました。

高格付け社債の信用スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は概ね横ばいで推移しました。

当作成期のJ Pモルガン・GBI-EMブロードメキシコインデックス（現地通貨ベース）は、作成期首に比べて2.15%上昇しました。金利は上昇したものの、インカムリターンがプラスに寄与し、インデックスでみたトータルリターンはプラスとなりました。

### 為替市場

当作成期のメキシコペソは対米ドルで下落しました。特に10月中旬から12月上旬にかけて、次期大統領が新空港建設を中止したことを契機として政治リスクが高まったことから、メキシコペソは大きく売られました。その後は新政権が提出した2019年度の予算案で基礎的財政収支の黒字目標が示されたことや、米国の利上げペースが後退するとの見方から米ドルが売られたことなどから、作成期末にかけてメキシコペソは上昇しました。メキシコペソ・円も概ね米ドル・メキシコペソに連れた動きとなり、当作成期を通してみるとメキシコペソは対円でも下落しました。当作成期のメキシコペソ・円は、作成期首5円92銭から作成期末5円80銭と0円12銭のメキシコペソ安・円高となりました。

ポートフォリオについて（2018年8月28日から2019年2月26日まで）

## 当ファンド

「メキシコ・ボンド・ファンド(ディストリビューションクラス)」を高位に組み入れることにより、主としてメキシコの債券等に投資しました。また「マネー・オープン・マザーファンド」への投資を通じて安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

## メキシコ・ボンド・ファンド(ディストリビューションクラス)

新政権を巡る政策の不透明感を背景にした自国通貨安に伴うインフレリスクの高まりから、メキシコの中央銀行が利上げをする可能性はあったものの、長期的にみたインフレ率は低位で落ち着くと考え、デュレーション（投資資金の平均回収期間）は市場全体よりや

や長めとする運用を行いました。中央銀行は11月と12月に利上げを行いました。2月は政策金利を8.25%に据え置きました。メキシコのインフレ率が鈍化していることや、米国の利上げ観測の後退などが背景です。

メキシコ国債中心の運用を行いました。財務状況が健全で利回り面での魅力も高いと判断した社債も組み入れ、国債は約6割、社債は約4割弱という組入比率での推移となりました。

## マネー・オープン・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について（2018年8月28日から2019年2月26日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について（2018年8月28日から2019年2月26日まで）

第67期から第69期までの1万口当たりの分配金（税引前）は、基準価額水準等を勘案し、それぞれ35円といたしました。しかし、メキシコペソ安・円高の進行等により基準価額が下落傾向で推移したことから、今後も継続的な分配を行うことを目指し、第70期から第72期までは25円といたしました。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項目	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期
当期分配金	35	35	35	25	25	25
（対基準価額比率）	(0.600%)	(0.624%)	(0.677%)	(0.468%)	(0.449%)	(0.445%)
当期の収益	35	35	35	25	25	25
当期の収益以外	-	-	-	-	-	-
翌期繰越分配対象額	1,765	1,795	1,827	1,872	1,918	1,962

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

引き続き「メキシコ・ボンド・ファンド（ディストリビューションクラス）」を高位に組み入れることにより主としてメキシコの債券等に投資します。

### メキシコ・ボンド・ファンド（ディストリビューションクラス）

当作成期のメキシコペソは、新政権の政策を巡る政治的不透明感を背景に大きく変動しました。今後も新政権の政策運営に不安が残

ることから、メキシコペソのボラティリティが高まる局面があると予想されます。新政権の動向を注視していきます。

メキシコの債券市場については、新政権の政策が市場の変動要因になる可能性はあるものの、相対的に高い利回りを求めて投資家の資金が流入することが期待されます。また信用スプレッドは安定的な推移を見込んでいます。今年の金融政策決定会合では政策金利が据え置かれると見込まれ、インフレが落ち着いてくれば年の後半には利下げの可能性もあると考えています。よってデュレーションは



やや長めとする運用をしていきます。社債に関しては現状程度の組入れを維持します。

---

## マネー・オープン・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

## 3 お知らせ

### 約款変更について

該当事項はございません。

## メキシコ債券ファンド（毎月分配型）【愛称：ラ・バンバ】

### ■ 1万口当たりの費用明細(2018年8月28日から2019年2月26日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	30円	0.541%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数) 投信会社：ファンド運用の指図等の対価 販売会社：交付運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(投信会社)	(8)	(0.146)	
(販売会社)	(21)	(0.379)	
(受託会社)	(1)	(0.016)	
(b) その他費用	0	0.005	その他費用＝期中のその他費用/期中の平均受益権口数 監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
(監査費用)	(0)	(0.004)	
(その他)	(0)	(0.002)	
合計	30	0.546	

期中の平均基準価額は5,491円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の費用は後掲の「包括利益計算書」をご覧ください。

### ■ 当作成期中の売買及び取引の状況(2018年8月28日から2019年2月26日まで)

#### 投資信託証券

		当 作 成 期			
		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
		□	千円	□	千円
国内	メキシコ・債券・ファンド（ディストリビューションクラス）	143,700,341	63,300	262,691,529	115,000
	合計	143,700,341	63,300	262,691,529	115,000

※金額は受渡し代金。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

### ■ 利害関係人との取引状況等(2018年8月28日から2019年2月26日まで)

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

### ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況(2018年8月28日から2019年2月26日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## メキシコ債券ファンド（毎月分配型）【愛称：ラ・バンバ】

### ■ 組入れ資産の明細 (2019年2月26日現在)

#### (1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	作成期首	作成期末		
	口数	口数	評価額	組入比率
	口	口	千円	%
メキシコ・ボンド・ファンド (ディストリビューションクラス)	4,033,341,135	3,914,349,947	1,747,757	94.0
合計	4,033,341,135	3,914,349,947	1,747,757	94.0

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

#### (2) 親投資信託残高

種類	作成期首	作成期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
マネー・オープン・マザーファンド	9,994	9,994	9,996

※マネー・オープン・マザーファンドの作成期末の受益権総口数は75,182千口です。

※単位未満は切捨て。

### ■ 投資信託財産の構成

(2019年2月26日現在)

項目	作成期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	1,747,757	92.9
マネー・オープン・マザーファンド	9,996	0.5
コール・ローン等、その他	122,682	6.6
投資信託財産総額	1,880,435	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

## メキシコ債券ファンド（毎月分配型）【愛称：ラ・バンバ】

### ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2018年9月26日) (2018年10月26日) (2018年11月26日) (2018年12月26日) (2019年1月28日) (2019年2月26日)

項目	第67期末	第68期末	第69期末	第70期末	第71期末	第72期末
<b>(A) 資産</b>	<b>2,168,080,559円</b>	<b>2,065,718,660円</b>	<b>1,875,718,122円</b>	<b>1,863,769,945円</b>	<b>1,894,108,884円</b>	<b>1,880,435,170円</b>
コール・ローン等	199,637,856	219,329,678	174,518,228	191,168,956	176,961,111	122,681,917
投資信託受益証券(評価額)	1,932,517,258	1,836,389,981	1,665,275,449	1,662,603,987	1,707,150,771	1,747,757,251
マネー・オープン・マザーファンド(評価額)	9,999,001	9,999,001	9,998,001	9,997,002	9,997,002	9,996,002
未収配当金	25,926,444	—	25,926,444	—	—	—
<b>(B) 負債</b>	<b>19,692,898</b>	<b>17,629,270</b>	<b>38,319,692</b>	<b>15,986,887</b>	<b>11,861,522</b>	<b>20,770,084</b>
未払収益分配金	12,962,524	12,870,647	12,529,809	8,686,273	8,480,096	8,321,045
未払解約金	4,810,404	2,837,140	23,992,790	5,665,277	1,555,102	10,841,534
未払信託報酬	1,906,054	1,902,198	1,775,577	1,622,507	1,803,994	1,593,666
未払利息	585	—	502	—	509	268
その他未払費用	13,331	19,285	21,014	12,830	21,821	13,571
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>2,148,387,661</b>	<b>2,048,089,390</b>	<b>1,837,398,430</b>	<b>1,847,783,058</b>	<b>1,882,247,362</b>	<b>1,859,665,086</b>
元本	3,703,578,351	3,677,327,750	3,579,945,592	3,474,509,495	3,392,038,473	3,328,418,339
次期繰越損益金	△1,555,190,690	△1,629,238,360	△1,742,547,162	△1,626,726,437	△1,509,791,111	△1,468,753,253
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>3,703,578,351口</b>	<b>3,677,327,750口</b>	<b>3,579,945,592口</b>	<b>3,474,509,495口</b>	<b>3,392,038,473口</b>	<b>3,328,418,339口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	<b>5,801円</b>	<b>5,570円</b>	<b>5,132円</b>	<b>5,318円</b>	<b>5,549円</b>	<b>5,587円</b>

※当作成期における作成期首元本額3,741,608,753円、作成期中追加設定元本額25,996,550円、作成期中一部解約元本額439,186,964円です。  
 ※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## メキシコ債券ファンド（毎月分配型）【愛称：ラ・バンバ】

### ■ 損益の状況

〔自2018年8月28日  
至2018年9月26日〕
〔自2018年9月27日  
至2018年10月26日〕
〔自2018年10月27日  
至2018年11月26日〕
〔自2018年11月27日  
至2018年12月26日〕
〔自2018年12月27日  
至2019年1月28日〕
〔自2019年1月29日  
至2019年2月26日〕

項 目	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期
(A) 配 当 等 収 益	25,817,181円	25,866,218円	25,590,556円	24,966,533円	24,656,623円	24,363,618円
受 取 配 当 金	25,831,163	25,877,286	25,598,109	24,977,465	24,663,587	24,373,913
支 払 利 息	△ 13,982	△ 11,068	△ 7,553	△ 10,932	△ 6,964	△ 10,295
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 28,017,568	△ 96,145,321	△ 167,689,178	49,856,053	63,974,760	△ 1,715,082
売 買 益	331,590	146,737	3,415,595	79,629,241	65,659,645	25,502,948
売 買 損	△ 28,349,158	△ 96,292,058	△ 171,104,773	△ 29,773,188	△ 1,684,885	△ 27,218,030
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,920,118	△ 1,921,483	△ 1,798,535	△ 1,635,818	△ 1,826,914	△ 1,607,237
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△ 4,120,505	△ 72,200,586	△ 143,897,157	73,186,768	86,804,469	21,041,299
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 1,197,140,766	△ 1,204,175,733	△ 1,253,292,214	△ 1,366,270,027	△ 1,269,558,949	△ 1,167,781,196
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 340,966,895	△ 339,991,394	△ 332,827,982	△ 324,956,905	△ 318,556,535	△ 313,692,311
( 配 当 等 相 当 額 )	( 243,092,311)	( 241,857,030)	( 236,045,288)	( 229,666,166)	( 224,639,618)	( 220,823,530)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△ 584,059,206)	(△ 581,848,424)	(△ 568,873,270)	(△ 554,623,070)	(△ 543,196,153)	(△ 534,515,841)
(G) 計 ( D + E + F )	△ 1,542,228,166	△ 1,616,367,713	△ 1,730,017,353	△ 1,618,040,164	△ 1,501,311,015	△ 1,460,432,208
(H) 収 益 分 配 金	△ 12,962,524	△ 12,870,647	△ 12,529,809	△ 8,686,273	△ 8,480,096	△ 8,321,045
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△ 1,555,190,690	△ 1,629,238,360	△ 1,742,547,162	△ 1,626,726,437	△ 1,509,791,111	△ 1,468,753,253
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 340,966,895	△ 339,991,394	△ 332,827,982	△ 324,956,905	△ 318,556,535	△ 313,692,311
( 配 当 等 相 当 額 )	( 243,092,312)	( 241,857,030)	( 236,045,289)	( 229,666,166)	( 224,639,618)	( 220,823,530)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△ 584,059,207)	(△ 581,848,424)	(△ 568,873,271)	(△ 554,623,071)	(△ 543,196,153)	(△ 534,515,841)
分 配 準 備 積 立 金	410,811,545	418,494,345	418,094,248	420,949,646	426,210,476	432,261,985
繰 越 損 益 金	△ 1,625,035,340	△ 1,707,741,311	△ 1,827,813,428	△ 1,722,719,178	△ 1,617,445,052	△ 1,587,322,927

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期
(a) 費用控除後の配当等収益	23,905,502円	23,953,035円	23,800,764円	24,427,813円	24,156,771円	22,763,911円
(b) 費用控除後・繰越欠損金補填後の 有価証券売買等損益	-	-	-	-	-	-
(c) 収益調整金	243,092,312	241,857,030	236,045,289	229,666,166	224,639,618	220,823,530
(d) 分配準備積立金	399,868,567	407,411,957	406,823,293	405,208,106	410,533,801	417,819,119
(e) 分配可能額(a+b+c+d)	666,866,381	673,222,022	666,669,346	659,302,085	659,330,190	661,406,560
1万口当たり分配可能額	1,800	1,830	1,862	1,897	1,943	1,987
(f) 分配金額	12,962,524	12,870,647	12,529,809	8,686,273	8,480,096	8,321,045
1万口当たり分配金額(税引前)	35	35	35	25	25	25

### ■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期
	35円	35円	35円	25円	25円	25円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本戻入金(特別分配金)」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

## ■ 組入れ投資信託証券の内容

### 投資信託証券の概要

ファンド名	メキシコ・ボンド・ファンド（ディストリビューションクラス）
形態	ケイマン籍外国投資信託（円建て）
主要投資対象	メキシコの債券等
運用の基本方針	主として、メキシコの債券等に投資し、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。メキシコペソ建て以外の債券等に投資する場合は、実質的にメキシコペソ建てとなるよう為替取引を行います。また、外貨建資産については、対円での為替ヘッジは行いません。
ベンチマーク	ありません。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 投資信託証券への投資は純資産総額の5%以下とします。ただし、上場投資信託証券（ETF、REIT等）は除きます。</li> <li>・ 非流動性資産への投資は、取得時において純資産総額の15%以下とします。</li> </ul>
決算日	原則として毎年10月31日
分配方針	毎月15日（休業日の場合は前営業日）に分配を行う方針。ただし、分配を行わないことがあります。
運用報酬等	純資産総額に対して年0.64%
管理およびその他の費用	<p>ファンドの設立、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。</p> <p>その他の費用・手数料については、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
投資顧問会社	シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント・リミテッド
副投資顧問会社	アクシオネス・イ・バローレス・バナメックス（Acciones y Valores Banamex S.A. de C.V., Casa de Bolsa）
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「メキシコ・ボンド・ファンド（ディストリビューションクラス）」をシェアクラスとして含む「メキシコ・ボンド・ファンド」の情報を委託会社において抜粋・要約して翻訳したものを記載しています。

■ 包括利益計算書(2016年11月1日から2017年10月31日まで)

	(千円)
受取利息	326,809
損益を通じて公正価値評価される金融商品にかかる純利益	66,407
純為替差益	772
収益合計	<u>393,988</u>
管理報酬	(25,317)
事務代行、名義書換代理人および保管報酬	(3,134)
監査報酬	(3,735)
銀行手数料	(14)
受託報酬	(1,213)
財務諸表作成費用	(456)
営業費用合計	<u>(33,869)</u>
税引前および金融費用控除前営業利益	360,119
受益証券保有者への分配金	<u>(423,838)</u>
税引前損失	(63,719)
源泉徴収税	<u>(6,072)</u>
営業による受益証券保有者に帰属する純資産の変動額および当期包括利益合計	<u>(69,791)</u>

メキシコ債券ファンド（毎月分配型）【愛称：ラ・バンバ】

■組入銘柄

(2017年10月31日現在)

銘柄名	債券種別	利率	償還日	組入比率
MEXICAN BONOS MBONO 6 1/2 06/09/22	国債	6.50%	2022/6/9	13.8%
MBONO 8.5% 18NOV2038	国債	8.50%	2038/11/18	12.0%
MBONO 10% 20NOV2036	国債	10.00%	2036/11/20	8.5%
SCOTIAB 13-2	社債	7.30%	2023/6/16	7.7%
MEXICAN BONOS MBONO 7 3/4 05/29/31	国債	7.75%	2031/5/29	7.6%
ARCAMZ 5.88% 10MAR2023	社債	5.88%	2023/3/10	7.0%
MEXICAN BONOS MBONO 7 1/2 06/03/27	国債	7.50%	2027/6/3	6.8%
BBVA BANCOMER SA BBVASM 7.83 08/24/20	社債	7.83%	2020/8/24	6.5%
MEXICAN BONOS MBONO 5 3/4 03/05/26	国債	5.75%	2026/3/5	5.3%
PETROLEOS MEXICA PEMEX 7.65 11/24/21	社債	7.65%	2021/11/24	3.5%
AMXLM 8.27% 05APR2018	社債	8.27%	2018/4/5	3.1%
EL PUERTO LIVERP LIVEPL 8.53 05/19/20	社債	8.53%	2020/5/19	2.6%
MBONO 10% 05DEC2024	国債	10.00%	2024/12/5	2.6%
PETROLEOS MEXICA PEMEX 9.1 01/27/20	社債	9.10%	2020/1/27	2.4%
TOYOTA17-3	社債	7.87%	2022/8/29	2.3%
MBONO 8% 11JUN2020	国債	8.00%	2020/6/11	2.2%
KIMBERLY-CLA MEX KCMA 7.17 10/29/20	社債	7.17%	2020/10/29	1.9%
GPO AEROPUER CEN GACENO 6.85 06/07/21	社債	6.85%	2021/6/7	1.2%
MEXICAN BONOS MBONO 7 3/4 11/13/42	国債	7.75%	2042/11/13	1.2%
EMBOTELLAD ARCA ARCAMX 7.74 11/13/20	社債	7.74%	2020/11/13	0.8%
MEXICAN BONOS MBONO 8 11/07/47	国債	8.00%	2047/11/7	0.7%
MEXICAN BONOS MBONO 7 3/4 11/23/34	国債	7.75%	2034/11/23	0.1%
MBONO 8.5% 31MAY2029	国債	8.50%	2029/5/31	0.1%

※比率はポートフォリオに対する割合です。

※シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント・リミテッドからのデータ提供を受けて三井住友アセットマネジメントが作成しています。



# マネー・オープン・マザーファンド

第6期 (2017年3月2日から2018年3月1日まで)

信託期間	無期限 (設定日: 2012年7月27日)
運用方針	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

## ■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入比率	純資産総額
	円	期中騰落率		
2期 (2014年3月3日)	10,013	0.1	98.2	75
3期 (2015年3月2日)	10,021	0.1	98.6	75
4期 (2016年3月1日)	10,025	0.0	83.9	75
5期 (2017年3月1日)	10,016	△0.1	69.8	75
6期 (2018年3月1日)	10,009	△0.1	72.4	75

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

## ■当期中の基準価額と市況等の推移

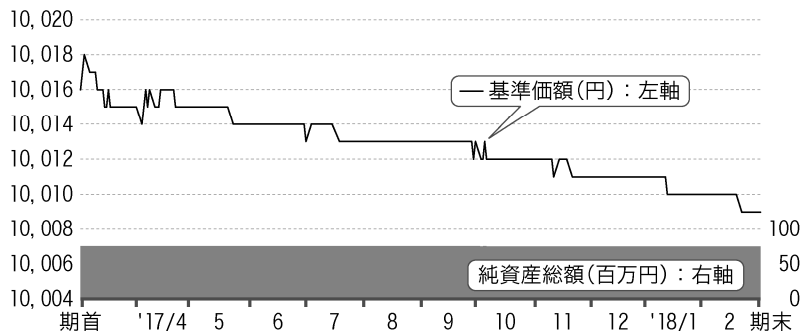
年月日	基準価額		債券組入率
	円	騰落率	
(期首) 2017年3月1日	10,016	—	69.8
3月末	10,015	△0.0	69.7
4月末	10,015	△0.0	87.1
5月末	10,014	△0.0	87.0
6月末	10,013	△0.0	86.8
7月末	10,013	△0.0	72.5
8月末	10,013	△0.0	72.4
9月末	10,013	△0.0	72.3
10月末	10,012	△0.0	72.2
11月末	10,011	△0.0	72.4
12月末	10,011	△0.0	72.3
2018年1月末	10,010	△0.1	72.2
2月末	10,009	△0.1	72.4
(期末) 2018年3月1日	10,009	△0.1	72.4

※騰落率は期首比です。

## 1 運用経過

### ▶ 基準価額等の推移について (2017年3月2日から2018年3月1日まで)

#### 基準価額等の推移



期首	10,016円
期末	10,009円
騰落率	-0.1%

### ▶ 基準価額の変動要因 (2017年3月2日から2018年3月1日まで)

当ファンドは、円建ての公社債および短期金融商品などへ投資しました。

#### 下落要因

・日銀によるマイナス金利政策が継続され、主要投資対象である短期公社債や短期金融商品におけるマイナス利回りが続いたこと

### ▶ 投資環境について (2017年3月2日から2018年3月1日まで)

当期の短期金利は上昇しましたが、マイナス圏での推移は継続しました。

物価上昇率は1%程度まで上昇しましたが、目標とする2%にはまだ乖離があることから、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策を維持し、日銀当座預金の一部へのマイナス金利の付利を継続しました。

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、日銀による短期国債買入れ残高が徐々に減額されたことを背景に上昇しましたが、マイナス圏での推移は継続しました。国庫短期証券3ヵ月物利回りは期首-0.317%に対し、期末には-0.200%に上昇しました。

▶ ポートフォリオについて (2017年3月2日から2018年3月1日まで)

短期金利は低位推移が継続するとの見通しから、残存0年から1年3ヵ月の円建て公社債および短期金融商品で構築したポートフォリオを維持しました。また、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮し、短期公社債の組入れを行いました。

▶ ベンチマークとの差異について (2017年3月2日から2018年3月1日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

## 2 今後の運用方針

日銀によるマイナス金利政策が継続され、短期国債利回りやコールローン翌日物金利など、主要投資対象である短期公社債および短期金融商品の利回りはマイナスで推移しています。

残存0年から1年3ヵ月の公社債や短期金融商品で利回りのマイナス幅が小さい投資対象を選定し、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮して運用を行います。

### ■ 1万口当たりの費用明細 (2017年3月2日から2018年3月1日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) その他費用 (その他)	0円 (0)	0.004% (0.004)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	0	0.004	

期中の平均基準価額は10,012円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

### ■ 当期中の売買及び取引の状況 (2017年3月2日から2018年3月1日まで)

公社債

		買付額	売付額
国内	特 殊 債 券	千円 67,793	千円 － (65,000)

※金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※( )内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

## ■ 利害関係人との取引状況等(2017年3月2日から2018年3月1日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■ 組入れ資産の明細(2018年3月1日現在)

公社債

### A 債券種類別開示／国内(邦貨建)公社債

区 分	期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
特 殊 債 券 ( 除 く 金 融 債 )	54,000 (54,000)	54,478 (54,478)	72.4 (72.4)	— (—)	— (—)	— (—)	72.4 (72.4)
合 計	54,000 (54,000)	54,478 (54,478)	72.4 (72.4)	— (—)	— (—)	— (—)	72.4 (72.4)

※( )内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※—印は組入れなし。

### B 個別銘柄開示／国内(邦貨建)公社債

種 類	銘 柄	期				末	
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日		
		%	千円	千円			
特 殊 債 券 ( 除 く 金 融 債 )	第15回 政府保証東日本高速道路債券	1.3	14,000	14,184	2019/2/25		
	第56回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.4	12,000	12,023	2018/4/20		
	第62回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.7	14,000	14,100	2018/7/31		
	第69回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.6	14,000	14,169	2018/11/28		
合 計	計	—	54,000	54,478	—		

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

## ■ 投資信託財産の構成

(2018年3月1日現在)

項 目	期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
	千円	%		
公 社 債	54,478	72.4		
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	20,792	27.6		
投 資 信 託 財 産 総 額	75,270	100.0		

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2018年3月1日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	75,270,110円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	20,677,360
公 社 債 ( 評 価 額 )	54,478,380
未 収 利 息	72,486
前 払 費 用	41,884
(B) 負 債	366
そ の 他 未 払 費 用	366
(C) 純 資 産 総 額 ( A - B )	75,269,744
元 本	75,202,622
次 期 繰 越 損 益 金	67,122
(D) 受 益 権 総 口 数	75,202,622口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 ( C / D )	10,009円

※当期における期首元本額75,232,566円、期中追加設定元本額0円、期中一部解約元本額29,944円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

アジア・ハイイールド債券ファンド毎月分配型(通貨アクティブヘッジコース)	30,000,000円
メキシコ債券ファンド(毎月分配型)	9,994,004円
メキシコ債券ファンド(資産成長型)	4,997,002円
日興エドモンドウ・ロスチャイルド・ラグジュアリーファンド	29,982,011円
SMB C・日興資産成長ナビゲーション	49,961円
アジア・ハイイールド債券ファンド毎月分配型(ヘッジなしコース)	29,944円
三井住友・グローバルC B戦略ファンド(為替ヘッジあり)	9,981円
三井住友・グローバルC B戦略ファンド(為替ヘッジなし)	9,981円
三井住友・公益インフラ優先証券ファンド201508	9,980円
ダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(為替ヘッジなし)	9,980円
ダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(限定為替ヘッジ)	9,980円
あしぎん世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-02	9,976円
三井住友・公益インフラ優先証券ファンド201603	9,978円
あしぎん世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-05	9,978円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-05(為替ヘッジあり)	9,978円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-05(為替ヘッジなし)	9,978円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-09(為替ヘッジあり)	9,980円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-09(為替ヘッジなし)	9,980円
あしぎん世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-09	9,980円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-12(為替ヘッジあり)	9,985円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-12(為替ヘッジなし)	9,985円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ 損益の状況

(自2017年3月2日 至2018年3月1日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	886,215円
受 取 利 息	901,602
支 払 利 息	△ 15,387
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 938,200
売 買 損 益	△ 938,200
(C) 信 託 報 酬 等	△ 2,779
(D) 当 期 損 益 金 ( A + B + C )	△ 54,764
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	121,933
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 47
(G) 計 算 ( D + E + F )	67,122
次 期 繰 越 損 益 金 ( G )	67,122

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、保管費用等を含めて表示しています。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ■ お知らせ

### <約款変更について>

受益者に対してする公告を電子公告の方法によるものとするため、所要の変更を行いました。

(適用日：2018年2月1日)